



まえだ・へいご ●昭和41年3月生まれ。赤坂東野字前田在住。稲刈り農務。趣味は農業、音楽鑑賞。座右の銘は「義を見てせざるは勇なきなり。真なり善なりを思わば完全となさめよ。」

稲穂が咲く時期にこのような機会をお与えいただき光栄に存じます。高校卒業後、東京のホテルにてウエイターの仕事をしながら、長男でしたので有機農業の実習を二年ほどして現在の婦人靴製造会社に勤務しながら無農薬の稲作に取り組んでおります。

最大の難題は田んぼの中の草に負けない状況で幼穂形成期を迎えられるかがその年の収穫に大きく影響してきます。鯉を放したり、合鴨を放したり、有機酸の力を借りたり、現在には初期除草にチェーン、その後にはけすつ太郎という道具での除草に至っております。レイチエールカーソンの一沈

村民【随想】リレー — 169  
**前田丙午さん**  
 人情の華咲く鮫川村

黙の春」や有吉佐和子さんの「複合汚染」など薬品の怖さに衝撃を受けての農業の実践でありますが、見るとするとでは大違い。苗作りはカビとの戦い失敗の連続でしたが、どうやら克服できそうなどころまで参りました。

ここに至るまで家族の支えがあればこそ今があり、地域の技術者の方々が時として兄となり先生となり、良きお手本となつて参りました。御恩に万分の一でもお報いすべく、原宛に苦しむ故郷の発展の一翼となれば幸いです。

■次は、藤田正義さん（赤坂西野字本坂）にバトンタッチ！

俳句

あやめ咲く去年の倍の賑やかさ  
 中井 恒峯  
 月見草の群生残し草を刈る  
 松本 精一  
 地堅めと根の健全に水を切る  
 北條業人坂  
 東風に乗りセシウム来る羅シユララ  
 黒田 寿香  
 風さがり静寂な居間孫ブルー  
 小松ハル工  
 旅づかれトイレの神に会いました  
 斎須 信子  
 梅雨寒し大飯原発再稼働  
 鈴木 米子  
 四句八月月が邪魔する螢狩り  
 土電 庵  
 時鳥の声高らかな雨上り  
 前田 穂子  
 ローカル線おしゃべり過ぎまくらんぼ  
 山本 恵子  
 住み難い山河となりて梅雨重し  
 山本五十鈴

短歌

ドウゲンのつつじの染めしわが庭の明るさ慕い降り来る小鳥  
 坂本 雪絵  
 伽羅の木の赤みが熟れて匂うらし斜日に光れる雀蜂の群れ  
 鈴木イミ子  
 生かされるこの世のわれと記しつづ文字の一つの光を浴びる  
 前田 初  
 苔の生ゆ庭に据えらる石卓で今日を寛ぐ茶を喫みており  
 佐藤 春枝  
 珍しい花にてあれば打算せず買ひ求め来る日頃のわれは  
 須藤 幸子  
 黄に咲ける花に寄せる愛の手に応えて匂う女郎花かな  
 水野 珠子  
 若者はこの世の宝 うるわしき心に咲かす 青春の花  
 関根 瑞恵

みんなの掲示板

**みんなのスマイル広場**  
 子育て中の保護者や親子をはじめ高齢者など、どなたでも気軽に立ち寄っていただける広場です。活動時間中はスタッフ数名が常駐し、子どもたちと遊んだり、子育て中の若い保護者の方の相談に応じます。また、子どもだけ預けての買い物、息抜き、医療機関受診なども可能です。

**動内容** 昔遊び（かるた、けん玉、お手玉など）、室内ゲーム（ジャグリング、トランプ、風船パレー）、読み聞かせ、紙芝居、バルーンアートなど

**実施予定日**  
 8月20・27日  
 9月3・10・17・24日  
 10月1・8・15・22日  
 11月5・12・19・26日  
 12月3・10・17・24日  
 1月7・14・21・28日  
 2月4・11・18・25日  
 3月4・11・18・25日

**活動時間**  
 ①午前10時～正午  
 ②午後1時～2時15分

**場所** 鮫川村保健センター

**●問い合わせ**  
 NPO法人明日飛子ども自立の里  
 TEL 0247-49-3344  
 FAX 0247-49-3366

行ってみよう! やってみよう!

**第12回小童まつり**  
**日時** 8月4日(土)午後3時～9時  
**場所** 赤坂中野字道少田地内(県道榑倉鮫川線)  
**内容** 大道芸、よさこい、フラダンス、案山子ライブ、大ピンゴ大会、屋台など



**第34回鮫川花火大会**  
**日時** 8月15日(水)午後7時～  
 ※雨天の場合は17日(金)  
**観覧場所** 田中ニット榑鮫川工場



**夏の星座・惑星観望会**  
**日時** 8月11日(土)・12日(日)  
 午後7時30分～9時  
 ※雨天中止  
**場所** 鹿角平天文台

Book

**図書館の苜蓿**  
 図書館からおすすめの本をご紹介します  
 鮫川村図書館(村歴史民俗資料館内)  
 ☎49-3106

**ジョン・マン 波濤編**  
 (山本一力著、講談社)

鎖国日本の時代、土佐の貧しい14歳の少年が漂流する。初めてアメリカで暮らした日本人であり、世界一周をする。のちに幕末日本を救ったジョン万次郎の奇跡の生涯を描く歴史大河小説。『大洋編』へと続く。

**はなちゃんのみそ汁**  
 (安武信吾・千恵・はな著、文藝春秋)

あなたは子どもに何を遺せますか。食することは生きること。余命宣告を受けた母親とはなちゃんが約束したこと。それは毎朝みそ汁を作ることでした。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

放射線標準以下と知らされて晴れ晴れと為す今年の田植え  
 満井 清乃  
 小さくも色良く咲いたのたのた  
 坂本 伊紀  
 手玉に取るロシア外交に踊らされ、北方四島運る日のなし  
 一平 子  
 昨年は夫運転のトラクター全てを孫が飛んぼを緑に  
 石井 幸子  
 爽やかな梅雨晴れとなり住み慣れし我が家の紫陽花いかかと思ふ  
 杉山 磯子  
 緑なす吾が田を見つめ今はもう他人の作付け忙しつるのりぬ  
 須藤ツエ  
 一年が過ぎて今高片付かず瓦礫の山は地産地消か  
 松本 一郎  
 梅雨空に草むらの中ひっそりとドクダミの花咲かせたり  
 前田喜三子  
 梅雨晴れの野外活動筋トレの羽鳥  
 藤田千代子  
 母成り温泉の湯舟に深く身を任せ土産あれこれ思いをめぐらす  
 関根ハナ子  
 すくすくと育ちし胡瓜初成りを神に供えて豊作ねがう  
 関根 富久  
 山帽子緑に白の浮ぶがに凜と咲きいる放射線よそに  
 鷺野谷 満  
 雨垂れの落ちる夕べの窓の外独り居の吾覗くや蛙  
 板橋 源良  
 とりどりの阜月花咲く裏庭の草刈終えて憩う一刻  
 関根キヌ子  
 東京と絆で結ぶホタルツアア一手打ちうどんなに笑いの体験  
 矢吹 一二  
 物忘れ多きこの頃歳なりと笑いに誤魔化す知恵のはたらく  
 北條 平

若者の広場 No.92

## Young Plaza

### 蛭田真吾さん

■これからやりたいことはありますか？

夢中になれることをしたいですね。今は読書くらいしか夢中になれることがないので、それ以外にも夢中になれることを探したいです。あとは、新しいことをするとき、そのリスクばかりを考えると、責任をもつてリスクを取り払えるような人になりたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村についてどう思いますか？

村の人は、自分に対してストイックだなと感じますね。やろうと決めたことをやり通す人が多いと思います。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

今のままの鮫川村であってほしいです。無理に新しいものをつくるのではなく、「手まめ館」など今あるものを利用していけばいいと思います。あと、ホテルが生息する自然環境を守ってほしいですね。それから、村内で働ける場所が増えてほしいですし、道が分かりづらいので、初めて鮫川村に来た人でも迷わないような工夫をしてほしいと思います。

■次は宗田竜也さん(赤坂中野字宿ノ入在住)の予定です。

夢中になれることを探したいです。



ひるた・しんご  
平成2年8月2日生まれ 21歳  
B型 しし座  
趣味はピアノ、料理  
渡瀬字田野上在住



ふれあい給食試食会

おいしいね！学校給食！  
7月6日(金)、公開七夕集  
会に引き続き、ふれあい給食  
試食会を実施しました。お招  
きした栄養士の芳賀公美先生  
からは、「体に大切な鉄分の  
多い食品にはどんなものがある  
か」など、保護者の関心のある  
お話をさせていただきました。  
普段、なかなか一緒に味  
わうことができない給食を食  
べながら、保護者・児童・教  
師で楽しいひとときを過ごす  
ことができました。家庭でも  
給食の話題が増えそうです。

## 学校だより

(94)

青生野小学校 編

親子でパソコンに挑戦！  
同日、午後の授業参観のあ  
と、ICTサポーターの佐藤  
裕先生をお招きし、家庭教育  
学級「パソコン教室」親子で  
暑中見舞いをつくらう」を  
実施しました。「パソコンは  
ネットがしか使わなかったけ  
ど、はがきのデザインの仕事  
がわかって面白かった(保護  
者)」「自分だけのオリジナル  
暑中お見舞いができてうれし  
かった(児童)」など、親子  
で有意義な時間を過ごすこと  
ができました。今後、親子で  
パソコン利用が増えるか  
な？



パソコン教室

(文・写真/青生野小学校)

出来上がったばかりの「シンヨ漬け」を手にするシンヨさん。思わず笑みがこぼれます

「手まめ館」で買うことができ、人気の漬物「シンヨ漬け」はおつまみにも最高と評判です。「シンヨ漬け」を作っているのは、緑川シンヨさん(86)。二十年以上作り続け、テレビの取材を受けるほどの名人です。「シンヨ漬け」というのも、シンヨさん本人の名前から付けられました。

「シンヨ漬け」には、わらびやきゅうり、しその実、大根など約十種類の具材が入っています。季節に採れた山菜や野菜をそれぞれ塩漬にし、しょうゆや蜂蜜、ザラメなどの調味料、防腐剤代わりの焼酎と一緒に漬けてみえます。そして、出てきた水分を全てくみ出し、三回漬直し、十日ほど仕込むとようやく完成。手間がかかります。調味料の分量は計らないというシンヨさん。全て自分の感覚で味付けします。「シンヨ漬け」の味はシンヨさんにしか出せません。多くの具材から出たうま味がミックスした味です。「かむほどに味がでて、日にちが経っても味が変わらない。味の決め手は愛情だよ」と、夫・末治さんのお墨付きです。



## むらの名人・達人 Vol. 1

漬物名人

### 緑川シンヨさん

みどりかわ・しんよ/赤坂東野字内ヶ竜在住



「うちのかあちゃんの漬物は最高だよ」と、夫の末治さん(右)

シンヨさんが作る「シンヨ漬け」味の決め手は…愛情